

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 25 日(土)18 時 30 分～20 時 15 分		
開催場所	三保まちづくりセンター	参加人数	8 人
出席議員	永見利久、肥後孝俊、佐々木豊治	補助員	笹田卓
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ 1. 移動販売の現状と課題 現状 ・まちづくりセンターに移動販売が来ているが、利益が十分でないため持続が困難。 ・毎週水曜日に岡見まちづくりセンターで移動販売を行っているが、赤字経営が続いている。 ・三保にも移動販売を導入したいが、現状では難しい。 課題 ・農協跡地に新たな出店を呼びかけているが、橋本商店やキヌヤの出店は難しい現状がある。 ・人口減少に伴い、新規出店を希望する事業者が少ない。 2. 買い物タクシーの導入 導入内容 ・ジャンボタクシーを利用し、予約制で買い物タクシーを開始。 ・乗員は 8 人で、添乗員が同行する。 利用状況 ・日用品は近くのキヌヤで購入できるが、化粧品など特定の品物は遠方のトライアルまで行く必要がある。 ・毎月 2 回、6～7 人の買い物ツアーが好評。 費用 ・片道 500 円の費用はまちづくりセンターが負担している。 3. 高齢者の移動問題 バス利用の課題 ・ひゃっこるバスは家の前まで来ないため、停留所までの移動が高齢者にとって大変。		

	・多くの高齢者がタクシーを利用してサンプラムへ買い物に行く。 4. 地域の取り組み ・井野や和田まちセンで食品販売を実施している。 ・毎月 1 回、三保マーケットを開催し、買い物中に交流の場を提供。健康チェックの機会も設けている。 5. 医療センター受診と買い物支援 受診支援 ・医療センター受診者は延べ 34 人。 ・受診時の片道料金は 700 円。 6. 買い物支援 ・買い物支援利用者は延べ 39 人。 7. 地域交通の自由 ・買い物と通院の自由を確保することが重要課題である。
	【福祉環境】市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について 1. 道路の維持管理と高齢化 草刈の実施 ・近々、草刈を実施する予定。特に高齢者が増えている地域での活動が必要。 ・高齢化が進む中で、草刈や道路維持管理を行うボランティアや支援が必要である。 2. ボランティアによる海岸清掃 実施内容 ・三保地区から古湊までの地域で、各種団体が協力してボランティアによる海岸清掃を実施している。 ・昨年は 400 人が参加し、漂着物の回収を行った。 環境問題への意識向上 ・海岸清掃活動を通じて、地域住民が環境問題に関心を持つ

	ようになっている。この活動は何十年も続いており、地域の環境保全意識を高める重要な役割を果たしている。 3. まとめ 市民生活の質向上 ・特に高齢化が進む地域では、交通の便の確保や環境維持管理が重要である。 【産業建設】地域産業の問題点と課題について 1. 地域産業の現状と課題 公共事業の重要性 ・地域にとって公共事業が基盤となっており、土建業の持続が不可欠である。 ・土建業が衰退すると、災害復旧などの重要な公共サービスが滞る恐れがある。 人口減少と新規出店の課題 ・人口減少に伴い、地域内での新たな事業者の出店が難しくなっている。 ・既存の商店を維持するための支援策が必要。 まとめ 地域産業の持続可能性 ・公共事業を支える土建業の持続が地域産業の基盤であり、そのための支援策が重要である。
--	--

自由意見	【総務文教委員会】 議会と執行部の協議体制 事前協議の重要性 ・執行部と議会が事前に協議して、議題について詰めていくことが重要である。 ・全員協議会でしっかり議論した上で、本会議に進むべきとの意見がある。 議会改革の必要性 ・資料館の件を例に、議会改革が必要であるとの意見が出された。 ・執行部と議会の連携を強化し、効果的な政策決定を行うことが求められている。
	【福祉環境委員会】
	【産業建設委員会】

令和 6 年 5 月 29 日 報告者 肥後 孝俊